

第１・２学年 国語（書写）科

１ 学年の目標

- (1) 日常生活に必要な文字について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や表現力を養う。
- (3) 文字がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、文字の大切さを自覚し、文字を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

確実な文字の活用の力を獲得させるために、水書用筆等を使用した運筆指導を取り入れるなどして、硬筆書写の能力を高めるための指導を工夫したり、姿勢、筆記具の持ち方、正しく丁寧に書く態度、筆順等の指導を綿密に行い、習慣化することが大切である。

２ 内容及び内容の取扱い

(1) 内容

- ① 姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書く。

以下の事項について理解し使うこと。

姿勢	背筋を伸ばした状態で体を安定させ、書く位置と目の距離を適度に取り、筆記具を持ったときに筆先が見えるようにする。
筆記具の持ち方	主に鉛筆やフェルトペンを使用し、人差し指と親指と中指の位置、手首の状態や鉛筆の軸の角度などを適切にし、持ち方を正しくして書く。

- ② 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書く。

以下の事項について理解し使うこと。

点画の書き方	点画の始筆と終筆の書き方に注意し、書き方を意識しながら読みやすく、丁寧に書く。
文字の形	文字のおおよその形(概形)を把握して書く。
筆順	「上から下へ」、「左から右へ」、「横から縦へ」といった筆順に従って、字形を形成していく過程を意識して書く。

- ③ 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書く。

以下の事項について理解し使うこと。

点画相互の接し方や交わり方、長短や方向	点画が接したり交わったりする位置や、点画の長さや向きについて点画相互の関係性を理解して書く。
---------------------	--

(2) 内容の取り扱い

- ① 確実な文字活用の力を獲得させるために、姿勢指導と用具の持ち方指導を関連して行うようにするとともに、年間を通して繰り返し指導する。
- ② 筆順の指導に関しては、繰り返し行い、筆順の原則が自然に身に付くように指導する。
- ③ 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向は、漢字に関する事項の指導と関連を図りながら指導することが望ましい。

３ 評価の観点の趣旨

観 点	観 点 の 趣 旨
知識・技能	日常生活に必要な文字の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりする。
思考・判断・表現	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。
主体的に学習に取り組む態度	文字を通じて積極的に人と関わり、文字がもつよさを感じようとしているとともに、文字をよりよく使おうとする。